

各 位

総合情報基盤センター

所長 田中 康一郎

令和6年度 総合情報基盤センター研究開発の公募

令和6年度総合情報基盤センター研究開発の募集を行います。詳しくは、下記の応募要領をご覧ください。なお、KSU基盤研究費、九州産業大学実用化支援研究費との重複応募は可能ですが、産業経営研究所研究プロジェクトと重複して申請することはできません。

記

応 募 要 領

1. 応募資格 本学の専任教員（常勤講師含む）であること。
2. 応募内容 ICTの研究開発に関する課題で以下の「研究開発テーマ」にあてはまること。
 - ① 今日のかつ将来的な情報コミュニケーションに関する課題であること。
 - ② 情報通信機器を用いた教育教材に関する課題であること。
 - ③ 情報通信機器を用いた授業方法に関する課題であること。※1 研究開発テーマ例を別紙1に示します。
※2 申請者は総合情報基盤センターにサーバ構築やICTに関する技術的支援を依頼し、協業して研究開発を進めることが可能です。この支援内容例を別紙1「総合情報基盤センター技術的サポート内容例」に示します。
※3 研究開発テーマ、総合情報基盤センター技術的サポート内容例、応募等について、ご不明な点・ご相談等があれば、お気軽に総合情報基盤センターにお問い合わせください。
3. 応募期間 令和5年8月16日(水)～9月15日(金)：[期限厳守]
4. 応募方法 所定の「総合情報基盤センター 研究開発申請書」に必要事項を記入の上、総合情報基盤センター事務室にFormsで提出すること。
5. 採択方法 総合情報基盤センター運営委員会において審査を行い、学術研究推進機構長へ審査結果を報告。学術研究推進機構長が採択の可否を決定する。
※KSU基盤研究費との重複応募は可能ですが、申請内容が同一と判断された場合は、KSU基盤研究費を支給しない場合があります。
6. 研究開発期間 令和6年度
7. 研究開発の応募条件と研究者
 - (1) 申請者の遵守事項
 - ① 研究開発した成果については、本学の教育に活用できるものであること。
 - ② 研究開発の成果物は、第三者の知的財産権（知的所有権）を侵害していないこと。
 - ③ 本学又は他の機関が実施する研究倫理教育を受講している（予定含む）こと。

- ④ 本学又は他の機関が実施する研究費の適正執行に関する研修会等（本学の場合、コンプライアンス研修会）を受講している（予定含む）こと。
- ⑤ 相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いに配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取り組みを必要とする研究など、法令等に基づく手続が必要な研究が含まれている場合、本学のヒトを対象とした研究に関する倫理委員会の審査を受けた上で、学術推進機構長（学長）の許可を得ること。（相談窓口：産学連携支援室）
- ⑥ 動物に関する実験を伴う研究を行なう場合、本学の動物実験委員会の審査を受け、学術推進機構長（学長）の許可を得ること。（相談窓口：産学連携支援室）
- ⑦ 研究開発代表者として行う申請は、一人1件までとすること。

(2) 研究開発者区分

- ① 研究開発代表者（以下、代表者）・・・本学の専任教員
 - ② 研究開発分担者（以下、分担者）・・・本学の専任教員、非常勤教員、本学の専任事務職員
 - ③ 研究開発協力者（以下、協力者）・・・大学院生、学部生、学外有識者
- ※研究開発者区分を別紙2に示す。

(3) 申請額

研究開発費は、総額200万円とする。

※最低申請額は、10万円とする。

8. 研究開発者の義務

- ① 研究開発終了後、総合情報基盤センター所長に研究開発報告書を提出すること。
- ② 研究開発結果を学内の研究開発報告会において報告すること。
- ③ 研究開発成果を次年度の総合情報基盤センター広報誌「COMMON」に投稿すること。
また、投稿内容を九州産業大学学術リポジトリに登録し、学内外に公開すること。
- ④ プログラム・仕様書等は総合情報基盤センターに帰属させること。
[総合情報基盤センターでライブラリ化を図り、一般利用者に公開すること。]
- ⑤ プログラムの保守を行うこと。
- ⑥ 研究開発成果を活用した科研費申請、特許出願、論文発表等を可能な限り実施すること。

9. 研究開発予算

(1) 予算の支出

総合情報基盤センター事業活動収支予算の中から研究開発の支出項目別に予算を支出する。

(2) 予算執行上の留意事項

- ① 支出費目は、科学研究費の支出基準に準じて取り扱う。ただし、予算は消費収支予算の中から支出されるため、機器備品及び人件費は除く。
- ② 研究課題に直接関連のない費用は執行できない。
- ③ 協力者の出張は、研究の主体を明確にするため、代表者または分担者に同行する場合以外は認められない。
- ④ 取得した物品に関しては、「学校法人中村産業学園物品の調達及び管理に関する規程」に準じた取り扱いを行なうこと。
- ⑤ 下記に申請可能な予算費目と主な使途を記載しているので留意して申請すること。

費目	主な使途
消耗品費	用紙、トナー、記憶媒体、ケーブル類、文房具、ソフトウェア代
一般旅費	交通費、宿泊費、日当
諸会費	会議参加費
購読費	書籍、雑誌
通信費	郵送費
諸手数料	ソフトウェア開発費、振込手数料

予算申請できないもの

- ・5万円以上の機器備品購入費用
- ・アルバイト料や講師料などの人件費
- ・過去に採択された研究開発プログラムに対する保守費用

10. 提出書類

(1) 申請書

次の申請書を提出すること。

①総合情報基盤センター研究開発申請書（様式1）

②算定の基礎（様式2）

※様式2の記入例を確認の上、可能な限り詳細に記入すること。

(2) 見積書等

①算定の基礎(様式2)に記載する品目のうち1つが申請総額の50%を超える場合、理由を備考欄に記入するとともに、見積書等をデータ添付すること。

②ソフトウェア開発費（諸手数料）は、開発の工程等がわかる資料を添付すること。

11. 問合せ先

総合情報基盤センター

担当：安武（内線5349）

以上

【研究開発テーマ例】

- ①学生のスマートフォンを利用したインタラクティブな授業実施に関すること。
- ②授業で使用するデジタル副教材等の利用に関すること。
- ③授業時間以外に学生からの授業に関する質問に受け答えすることができる仕組みに関すること。
- ④ネットワーク上で授業の内容について討論を行うことを目的とした電子掲示板等の開発に関すること。
- ⑤授業の質の向上を図るために授業時間中にその場で学生の理解度を把握する技術に関すること。
- ⑥学習管理システム（Moodle等）のカスタマイズに関すること。
- ⑦分かり易いパワーポイントのテンプレート作成に関すること。
- ⑧学生への資料配付及び回収を効率的に行う仕組みに関すること。
- ⑨学生アンケートの実施、回収、統計を効率的に行う仕組みに関すること。
- ⑩授業理解度を可視化し、理解度が不十分な点を効率よく支援する仕組みに関すること。
- ⑪教職員または学生の情報通信機器利活用方法等の習得を促すe-ラーニング教材の開発に関すること。
- ⑫授業または研究で活用するビッグデータに関すること。
- ⑬総合情報基盤センターとの共同研究開発。

【総合情報基盤センター技術的サポート内容例】

1. 研究開発準備の支援
 - ①業者の紹介及びシステム開発等の見積依頼支援
 - ②必要な開発環境（ハードウェア、ソフトウェア、各種サービス、無料教材等）の紹介
 - ③先進事例調査の協働、学内外の詳しい人材の紹介
 - ④映像使用のアドバイス
2. 研究開発の支援
 - ①ホスティングサーバの構築（Moodleサーバ、Webサーバ等）
 - ②要件定義まで完了したシステムの概要設計、詳細設計に関わるアドバイス
 - ③詳細設計後のシステム構築に関する具体的なアドバイス
3. 研究開発後の支援
 - ①利用者ガイド等の制作支援
 - ②研究発表の準備支援
 - ③研究開発後の運用継続支援

「研究開発代表者」、「研究開発分担者」、「研究開発協力者」の留意点（予算の執行について）

資格区分	種類	研究開発	科研費事業	備考
研究開発代表者		研究開発の遂行に当たって全ての責任を持つ者	○研究代表者（補助事業者） 補助事業の遂行に当たって全ての責任を持つ者	科研費に準じる。 ※予算の執行については、研究開発代表者が行う。
研究開発分担者		「研究開発代表者」とともに研究開発の遂行に責任を負い、研究開発を分担して実施する者	○研究分担者（補助事業者） 「研究代表者」とともに補助事業の遂行に責任を負う者 「研究代表者」から分担金の配分を受け、自らの裁量で研究費を使用することができる。	科研費に準じる。 ただし、研究開発分担者に予算は配賦しない。 ※予算の執行については、研究開発代表者が行う。
研究開発協力者		研究開発の遂行に当たって協力を行う者	○研究協力者（補助事業者ではない） 研究課題の遂行に当たって協力を行う者 ・応募資格がない者であっても「研究協力者」になることができる。 ・「研究協力者」は、科研費を主体的に使用することはできない。	科研費に準じる。 研究開発協力者に予算は配賦しない。 ※予算の執行については、研究開発代表者が行う。

※科研費事業の内容について

- ①科研費ハンドブック（研究者用）2023年度版【文部科学省研究振興局 独立行政法人日本学術振興会】から引用
- ②平成30年4月から、連携研究者は廃止され、研究協力者と統合